

新刊紹介



アジアの 現代都市紀行

変貌する都市と建築

著者：樋口正一郎
発行：鹿島出版会
仕様：四六判、188頁
定価：2,500円(税別)

活気に満ちたアジアの都市の中から北京、上海、深圳、香港、台北、バンコク、クアラルンプール、ソウル、シンガポールの9都市にスポットを当て、各都市の建築やまちづくりを紹介した『アジアの現代都市紀行』がこのほど、鹿島出版会から発行された。

同書は、造形作家であり都市景観研究者でもある樋口正一郎氏が、9都市を巡り、それぞれの都市における建築や都市景観の最新動向を写真中心にまとめたものだ。本のサイズは小さいながら、まるで写真集のように多くの写真を使い、エネルギー溢れるアジアの都市の状況がビジュアルに分かるようになってきている。

著者は本の中で「西洋文明がここ数百年かけて試行錯誤しながら

築いてきた建築や都市の築き方を集大成することになったのがアジアではないだろうか。と言うのも20世紀末までに、西洋型システムが行き詰まり、新たな捌け口、逃げ道を探した方向がドバイなどの金持ちアラブであり、アジアではなかったのか」と指摘する。

また、著者は取り残され、白紙に近い状態のアジアだからこそ思い切ったことが大胆にできるとし、西洋文明が越えられなかったハードルをいとも簡単に飛び越えているアジアの9都市を選んだと述べている。

そして、「日本が先進国などというプライドを捨て、がむしゃらに邁進するアジアの一員となって出直して欲しいと願っている」と結んでいる。



啓け!

—被災地への命の道をつなげ—

著者：岩田やすてる
発行：(株)コスモの本
仕様：A5判、158頁
定価：900円(税別)

「道路啓開」という言葉は、東日本大震災以前、余り耳に馴染みがないものだったが、これへの取り組み無くして震災の復旧復興は始まらなかった。国土交通省東北地方整備局とそれに協力する建設業者が一体となって懸命に被災地への道を切り開いた「道路啓開」を、マンガで描き出した『啓け!—被災地への命の道をつなげ—』が発行された。

作者は、コミック誌などで活躍している漫画家の岩田やすてる氏。編集者が現地に何度も足を運び、綿密な取材をすることで、東北地方整備局の徳山日出男局長など多くの人々が実名で登場する、事実に基づいたドキュメンタリー・コミックスに仕上げている。

マンガには、いまだ世間にはほと

んど知られていないであろう感動的ないくつものエピソードが描かれている。

なかでも、津波でなくなられた方の遺体が次々と発見されたのに、燃料不足から火葬にできず、土葬にするしかなかった。だが、そのための棺桶が足りなくて、陸前高田市の戸羽市長が東北地方整備局の徳山局長に棺桶をお願いしますと頼んだ悲惨な話は、衝撃的である。

また、リエゾンとして全国各地から国土交通省の職員が被災地の自治体に赴き、復旧復興活動を地元の人達と同様の心情、感覚でサポートしたエピソードにも心が打たれる。

なお、このマンガは、(株)コスモの本WEBサイトで連載していた。